

埋立事業会計の会計廃止までの取組状況について

1 これまでの経緯

平成 15 年 中期財政ビジョン

一般会計の負担が必要となった事業と位置づけ、収支不足対策として公共用地有償所管換及び補助金、合計約 600 億円の支援を決定しました。

平成 27 年 埋立事業会計の廃止について（廃止方針）

令和 14 年度末の会計廃止を決定しました。

令和 3 年 南本牧ふ頭が埋立完了

令和 4 年 横浜市中期計画 2022～2025

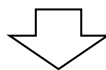
令和 14 年度末会計廃止に向け、引き続き収支改善に取り組むこととしました。

2 現在の長期収支の見通し

- 令和 4 年度末時点での会計廃止までの経費について現時点の見込みを集計した結果、会計全体の収支不足の見通しは、**廃止方針時点の約 600 億円から約 400 億円となり、約 200 億円の収支改善**となる見込みです。
- これは、みなとみらい 21 地区等の地価の上昇による土地売却収入の増加や、企業債利息の減少等によるものです。
- この結果、**一般会計からの補助金による支援は不要**となり、八景島、臨港パーク、日本丸メモリアルパークなどの緑地等の公共用地有償所管換で充足する見込みです。

廃止方針時点 (単位：億円)

	長期収支見込				
	完成土地	金沢木材	新山下	MM21	南本牧
事業費	—	207	52	2,332	3,231
事業収入	—	241	148	2,292	1,925
損(△)益	637	34	96	△40	△1,306
	727				△1,306
会計内の損(△)益	△579 (約600)				



令和4年度末時点 (単位：億円)

	長期収支見込				
	完成土地	金沢木材	新山下	MM21	南本牧
事業費	—	207	49	2,328	2,983
事業収入	—	246	163	2,384	1,736
損(△)益	637	39	114	56	△1,247
	846				△1,247
会計内の損(△)益	△401 (約400)				

【参考】埋立事業会計の本市への貢献

- 埋立事業会計から一般会計への現金374億円の繰出と531億円の事業費負担により、埋立事業会計は合計約900億円の本市財政への貢献をしてきました。
(単位：億円)

一般会計への繰出	374	昭和39年から平成5年にかけて埋立事業の利益を一般財源として繰出
事業費の負担	531	帆船日本丸購入、横浜赤レンガ倉庫整備、横浜マリタイムミュージアム（現横浜みなと博物館）整備等
合計額	905	

- 造成土地への企業立地を通じた税収確保、雇用拡大等の経済波及効果に加え、公共建設発生土の受入、廃棄物処分場設置による市民生活から発生する廃棄物の安定的な処分等、港湾機能や都市機能の強化への貢献をしてきました。

3 今後の対応

(1) 埋立完了後の基盤整備等

土地利用に必要な基盤整備等を開発計画の進捗に応じて実施します。

○みなとみらい21地区の売却土地にかかる埋設物撤去、整地等を実施します。

○南本牧ふ頭2ブロック及び5-1ブロックの道路、上下水道等の基盤整備を実施します。

(2) 保有土地の処分

関係局と連携しながら着実に保有土地の処分を進めます。

○みなとみらい21地区62街区は令和5年6月に売買契約を締結予定です。

○みなとみらい21地区60、61街区は一般会計に所属替後、財政局と合同で公募売却の手続きを進めます。

○南本牧ふ頭2ブロック、5-1ブロックは基盤整備の進捗に合わせて一般会計に所属替を行い、荷さばき地やロジスティクス用地として使用します。

土地名称	(面積)	用途	R4末処分見込額 (億円)
売却予定地			
MM62街区	(2ha)	R4.12 予約契約締結 R5.6 売買契約締結予定	126
一般会計所属替予定地			
MM60、61街区	(1ha)	財政局と合同で公募売却に向けて準備中	64
南本牧ふ頭2ブロック	(3ha)	荷さばき地	20
南本牧ふ頭5-1ブロック	(13ha)	ロジスティクス用地	111

※廃止方針時点での処分見込額を基本に試算

(3) 基盤整備・保有土地 位置図

